



「市民会館壁画原画」決定！

市民会館入り口に描く約280㎡の巨大壁画の原画が決定しました！
芸術家家族グループによる作品です。

令和3年6月4日から令和3年7月4日までに公募していた、市民会館壁画原画が決定しました。文化芸術の発信の場である市民会館に新たなシンボルアートが誕生します。

○壁画（原画）

作品タイトル：「調和する街、取手」

コンセプト：「もっとも親しみやすい美術品はもっとも身近な場所にある。」

という想いのもとに、取手に関する話し合いを子供たちとする中で生まれた作品。カワセミとフクロウを主なモチーフとして夏の花火大会の思い出と合わせることで取手の街を表現しました。

○原画制作者

グループ名：おうちびじゅつかん（代表者：松浦 春菜）

グループ紹介：もっとも親しみやすい美術品は最も身近な場所にある。というコンセプトのもと2017年に活動開始。同年、茨城県守谷市にあるアーカススタジオにて初めての個展「おうちび美術館」を開催した。また、構成メンバーの活動は国内外問わず多岐にわたり最近の展覧会では「渋谷と浮世絵、木彫と油画」NORA 渋谷、東京（2021）、「NEW LOOK」Christine Park Gallery、New York（2018）等があげられる。
芸術家夫婦とその子供達3人からなるアーティストコレクティブ。

○選定方法

応募のあった原画14点の中から、取手市民会館壁画原画選定委員会で協議し選定しました。選定後、市長に承認されました。

○選定委員会構成員

壁画によるまちづくり実行委員長、取手市文化連盟会長、取手市藤代文化協会顧問
取手市議会議長、副市長、教育長、政策推進部長

○選定理由

- ・コンセプトや手法が良く、子供と取手の街について話し合いながら絵を作成し構成している作品。子供の未来を一緒に作っていくという事も市民会館のイメージに合っている。
- ・カワセミ、フクロウ、花火など取手のモチーフを使用していて取手らしい。
- ・絵画的表現をしているので壁画にしても映える作品となる。

○原画デザイン料

300千円

○壁画完成予定

10月上旬



○取手市民会館壁画制作の概要

委託先 取手市壁画によるまちづくり実行員会

委託料 6,930 千円

(内訳) 新型コロナウイルス感染症対応地域創生臨時交付金 5,891 千円

一財 1,039 千円

問い合わせ先	取手市 政策推進部 文化芸術課 文化振興係 担当者：本郷 電話：0297-74-2141（内線 1291） E-mail：art@city.toride.ibaraki.jp
--------	--